

岩手県感染症週報

平成28年第21週(5月23日～5月29日)

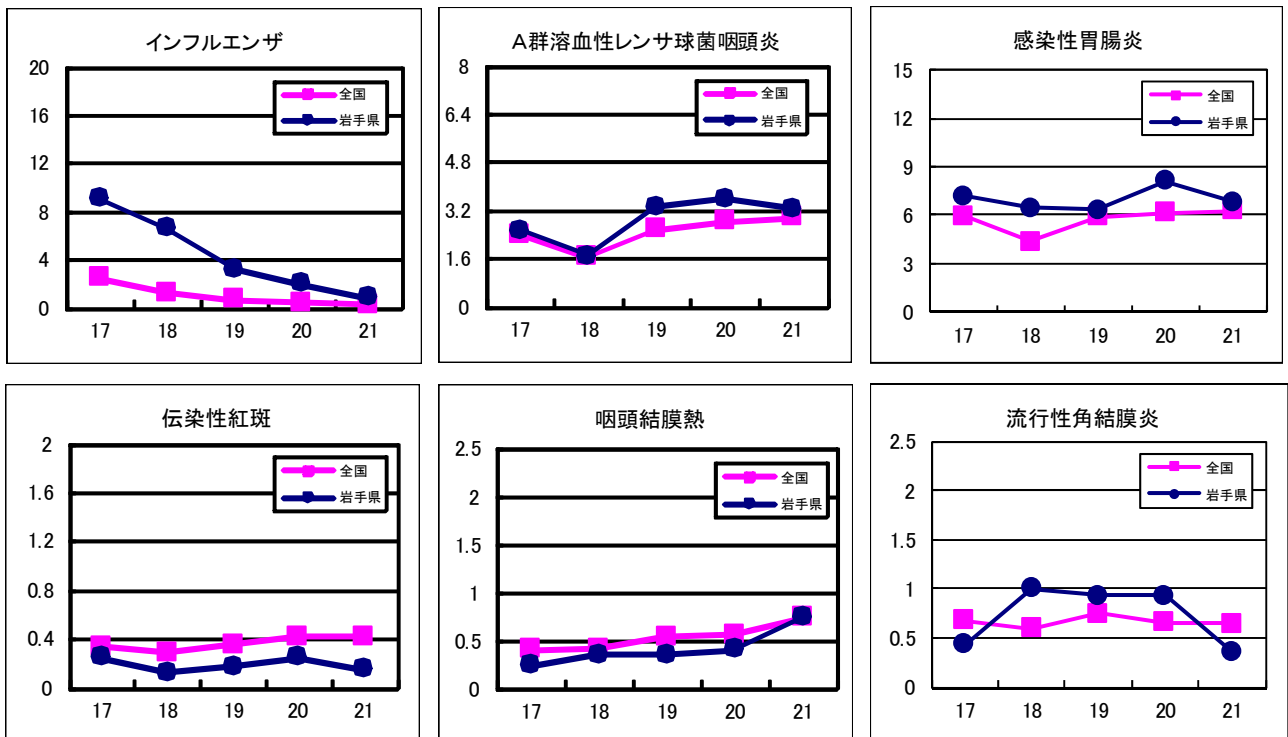
岩手県感染症情報センター

第21週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が12例ありました。このうち潜在性結核感染症の報告は8例です。
- 3 類感染症 ・患者発生の報告はありませんでした。
- 4 類感染症 ・レジオネラ症の患者の報告が、奥州地区から1例ありました。レジオネラ属菌による呼吸器感染症です。土壌や水環境に普通に存在する菌で、暴露されても発症はまれですが、高齢者や体調の悪い人は注意が必要です。
 ・薄着で山や田畑に出かける時期となり、ダニやマダニが媒介する感染症に注意が必要です。山や草むらで野外活動をする時は、肌の露出を少なくし、虫除け剤(ディート含有)を使う、帰宅後すぐに入浴するなど、ダニに刺されない対策が重要です。なお、発熱、発疹、頭痛といった症状が出た場合は早期に受診しましょう。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・アメーバ赤痢の報告が、盛岡市から2例ありました。患者は、40歳代及び50歳代の男性です。
 - ・水痘(入院例)の報告が、久慈地区から1例ありました。患者は、30歳代の女性です。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・咽頭結膜熱は、例年6月頃から増加し始めますが、5月上旬から患者数が多くなっています。流行開始が早まっているので注意が必要です。発熱・咽頭炎・眼症状を主症状とする、アデノウイルスによる小児の急性ウイルス性感染症です。感染経路は、主に飛沫及び接触感染で、タオルの共用などでも感染する場合がありますので注意が必要です。
 - ・感染性胃腸炎は、盛岡市の保育園等でノロウイルスによる集団感染事例が発生しました。集団で生活する保育園等では、感染予防対策の再確認が勧められます。石けんと流水による手洗いの徹底と、患者の吐物や便の塩素系薬剤による適切な処理が重要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		17	18	19	20	21		
インフルエンザ	岩手県	9.03	6.61	3.22	2	0.88	↘	☆
	全国	2.51	1.24	0.68	0.48	0.29		
RSウイルス感染症	岩手県	0.1	0.08	0.05	0.03	0	→	
	全国	0.15	0.11	0.1	0.1	0.11		
咽頭結膜熱	岩手県	0.23	0.35	0.35	0.4	0.73	↗	☆
	全国	0.4	0.41	0.54	0.56	0.73		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	2.55	1.7	3.33	3.58	3.25	→	☆☆
	全国	2.41	1.65	2.56	2.83	2.97		
感染性胃腸炎	岩手県	7.2	6.43	6.33	8.1	6.83	↘	☆
	全国	5.98	4.37	5.88	6.16	6.29		
水痘	岩手県	0.38	0.65	0.55	0.38	0.55	→	☆
	全国	0.36	0.38	0.51	0.36	0.56		
手足口病	岩手県	0.08	0	0.05	0.03	0.05	→	
	全国	0.06	0.06	0.09	0.14	0.18		
伝染性紅斑	岩手県	0.25	0.13	0.18	0.25	0.15	→	☆
	全国	0.34	0.29	0.36	0.42	0.42		
突発性発疹	岩手県	0.38	0.45	0.53	0.4	0.35	→	☆
	全国	0.55	0.44	0.57	0.58	0.65		
百日咳	岩手県	0	0	0	0.03	0.03	→	
	全国	0.02	0.01	0.02	0.02	0.02		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.03	0	0	0	→	
	全国	0.05	0.06	0.11	0.21	0.25		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.48	0.15	0.53	0.58	0.63	→	☆
	全国	0.8	0.76	0.95	0.95	0.85		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0.07	0	0	0.07	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02		
流行性角結膜炎	岩手県	0.43	1	0.93	0.93	0.36	↘	☆
	全国	0.68	0.59	0.75	0.66	0.65		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.03	0.02	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.04	0.06	0.06	0.06		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.37	0.47	0.37	0.58	0.58	→	☆
	全国	0.47	0.43	0.44	0.53	0.56		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.79	0.89	0.32	0.37	0.26	→	☆
	全国	0.61	0.48	0.38	0.37	0.30		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	10	3	2	2	1		
	全国	118	65	41	27	21		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					累計	全国	
		(週) 17	18	19	20	21		21	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	4 (1)	1 (0)	8 (4)	4 (2)	12 (8)	97 (45)	439	9204
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	1
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	3	50
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	1	2	0	8	36	353
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	20
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	8
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	2	4	182
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	7	148
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	5
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	1	2
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	1	2
	キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	6
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	3	15
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	2
	つつが虫病	0	0	0	1	0	1	5	67
	デング熱	0	0	0	0	0	1	4	137
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	3	40
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	17	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	1	1	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
レジオネラ症	0	0	0	0	1	4	33	445	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	3	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	岩手県					全国		
		(週) 17	18	19	20	21	累計	21	206
五類 感 染 症	アメーバ赤痢	1	0	0	0	2	7	9	473
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	1	2	95
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	1	0	0	7	16	535
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	4	5	405
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	1	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	0	70
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0	0	0	0	4	7	209
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	2	15	555
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	23
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	1	5	138
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	22
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	1	1	0	3	46	1350
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	1	2	6	115
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	1	0	0	0	2	55	1514
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	1	48
	破傷風	0	0	0	0	0	0	1	40
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	17
	風しん	0	0	0	0	0	0	7	50
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	8	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	15	

今注目の感染症

感染性胃腸炎

(ノロウイルスによる集団感染事例)

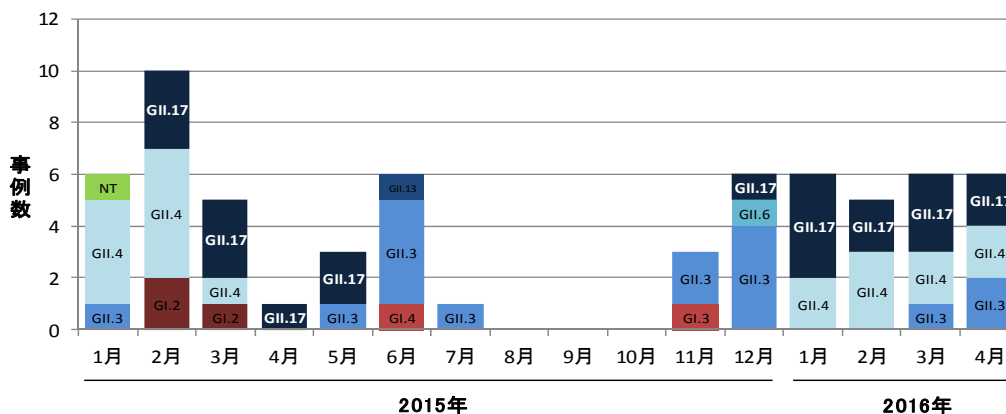
感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。

県内では、保育園、福祉施設、小学校等においてノロウイルス等による集団感染事例が報告されています。当センターでは、それら集団感染事例について遺伝子型を調査しています。

下図は、岩手県において、2015年の1月から2016年の4月まで発生したノロウイルスによる集団感染事例の遺伝子型を月別にまとめたものです。

マスコミ等で「新型」として取り上げられた「ノロウイルスGII.17変異株」は、2015年の2月の集団感染事例から検出され、2015年には32例中9例でしたが、2016年1月から4月までに発生した事例23例中11例を占めています。その予防には、これまでどおり石けんと流水による手洗い、患者の吐物や便の塩素系消毒剤 (ハイターなど) による適切な処理が重要です。

感染性胃腸炎集団感染事例におけるノロウイルス検出状況 (岩手県、2015年1月～2016年4月)



今注目の感染症

つつが虫病

つつが虫病は、ツツガムシ病リケッチアに感染したツツガムシ（ダニの一種）の幼虫の刺咬により感染します（図1）。

岩手県内での発生状況ですが、全県内に発生し、春から夏と、秋から冬にかけての2つの発生のピークがみられます（図2）。ツツガムシの生息しているような場所（野山や田畑、河川敷等）に立ち入る場合には、肌の露出を少なくして、虫除け剤（ディート含有）を適宜使用しましょう。ダニが衣類の隙間から入り込むことがあるので、帰宅後は速やかに入浴やシャワーなどで、ダニを洗い流すことも大切です。

潜伏期間は5日から15日間で、症状は、発熱、発疹、頭痛が主症状で、皮膚には特徴的なダニの刺し口がみられます（表1）。つつが虫病は、適切な治療を早期に受けることが重要です。野外活動の後、疑わしい症状が出た場合には、早めに医療機関を受診しましょう。野外で活動したことを医師に伝えることも大切です。

国立感染症研究所：ツツガムシ病とは

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/436-tsutsugamushi.html>

国立感染症研究所：リケッチアって知ってますか？

<http://www0.nih.go.jp/niid/Rickettsia/>

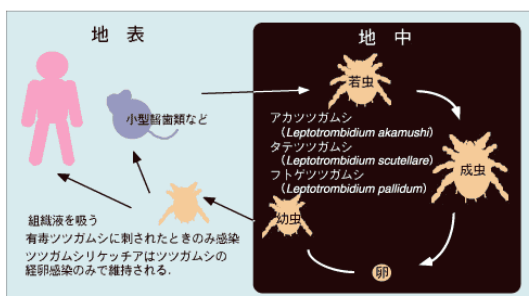


図1 ツツガムシの生活環
— 国立感染症研究所HPより —

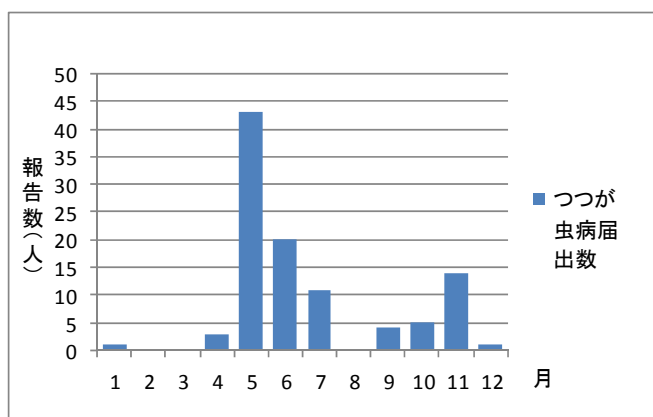


図2 岩手県における月別つつが虫病届出数 (1999-2016年累計)

表1 ダニを媒介して起こる代表的な感染症

疾患名	媒介するダニ	病原体	症状	潜伏期	発生状況 (2016年1～19週)	
					全国	岩手県
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	マダニ (フタゲチマダニ、タカサゴキラマダニ、キチマダニ等)	SFTS virus (severe fever with thrombocytopenia syndrome virus)	発熱、消化器症状 (嘔吐、下痢等)、頭痛、白血球数減少、血小板数減少	6日～14日	9	—
つつが虫病	ツツガムシ (アカツツガムシ、タテツツガムシ、フトケツツガムシ)	Orientia tsutsugamushi	発熱、発疹、頭痛、刺し口、全身倦怠感、食欲不振、悪寒、リンパ節腫脹	5日～15日	58	1
日本紅斑熱	マダニ (キチマダニ、フタゲチマダニ、ヤマトマダニ等)	Rickettsia japonica	頭痛、発熱、全身倦怠感、刺し口、発疹	2日～8日	27	0
ライム病	マダニ (シブルツエマダニ)	Borrelia garinii, Borrelia afzelii	游走性紅斑、インフルエンザ様症状 (倦怠感、頭痛、発熱など)	数日～数週間	0	0



今注目の感染症 (つづき)

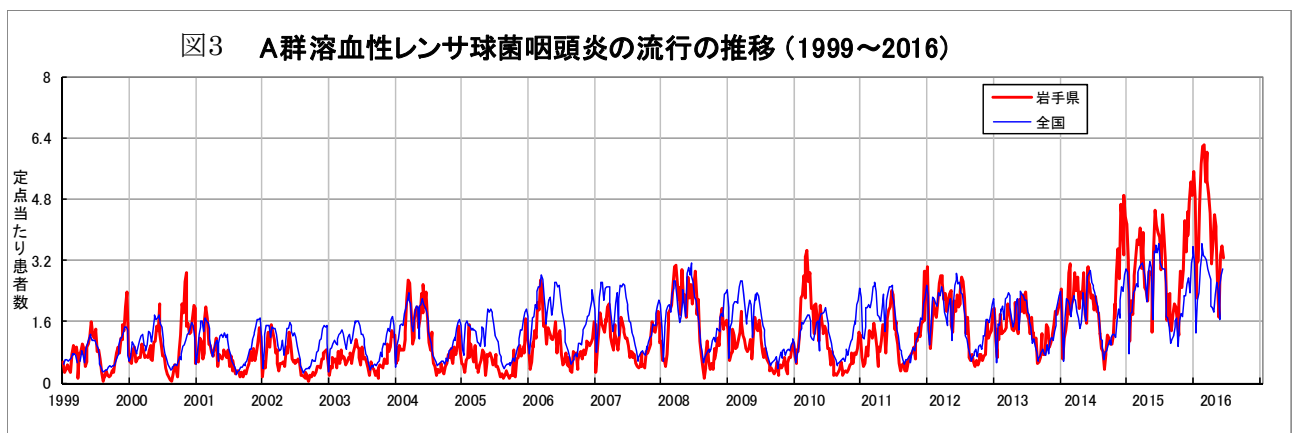
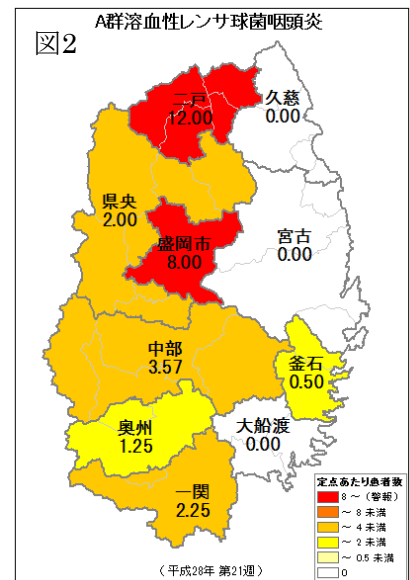
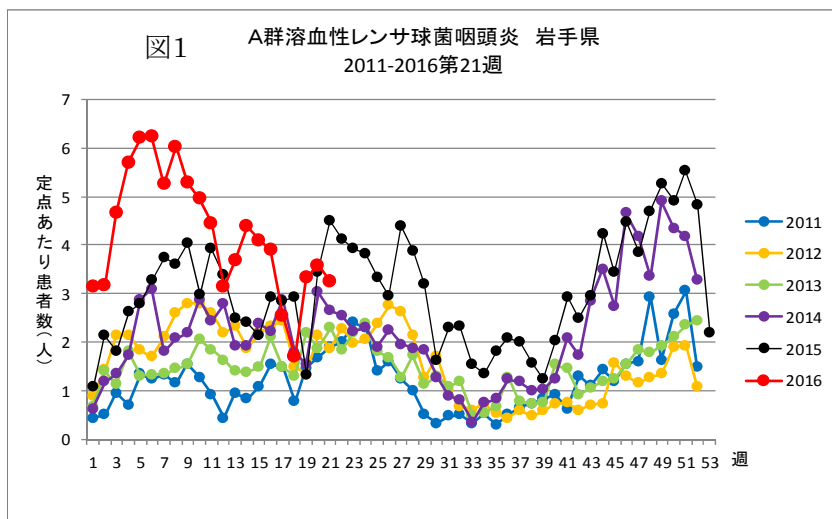
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による急性咽頭炎です。潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭炎、全身倦怠感によって発症し、体幹に発疹を伴うことがあります。感染後、急性腎炎を併発することがあるので、7～10日間の抗菌剤内服が重要です。予後良好な疾患ですが、菌が産生する毒素に免疫がない場合には猩紅熱に発展する場合があります。

予防には、患者との濃厚接触を避けること、うがいや手洗いなどの励行、マスクを用いた咳エチケットが重要です。

岩手県での発生状況は、2014年の第41週から、他の年に比較して多い状況が続いています(図3)。2016年の第6週には、県全体の定点あたり患者数6.23人と、調査を開始した平成11年以降で最多の報告数となりました。その後減少傾向にありますますが、第19、20週には、増加に転じました。第21週はやや減少しましたが、盛岡市及び二戸地区で警報値(定点あたり患者数8人)を超えています。今後とも注意が必要です(図1)。

参考 国立感染症研究所 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>



病原体検出情報

- ・インフルエンザの患者の咽頭ぬぐい液から、B型インフルエンザウイルスを3件、それぞれ検出しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを3件、それぞれ検出しました。
- ・気管支喘息の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを1件検出しました。
- ・下気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを1件検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の糞便から、A群ロタウイルス遺伝子型IP[8]を、1件検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の糞便から、ノロウイルス遺伝子群II.3を、1件検出しました。
- ・不明発疹症の患者の咽頭ぬぐい液から、ヘルペスウイルス6型を、1件検出しました。
- ・不明発疹症の患者の咽頭ぬぐい液から、パルボウイルスB19を、1件検出しました。
- ・流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、単純ヘルペスウイルス1型を、1件検出しました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

盛岡市内の保育園 (園児76名、職員23名)

- ・5月16日 (月) から5月30日 (月) にかけて、園児14名に症状 (嘔吐、下痢、発熱等)
- ・有症園児4名から、ノロウイルスを確認

盛岡市内の認定子ども園 (園児264名、職員38名)

- ・5月20日 (金) から5月30日 (月) にかけて30名 (園児28名、職員2名) に症状 (嘔吐、下痢、腹痛、発熱等)
- ・有症園児6名からノロウイルスを確認

○インフルエンザによる学校等の休業措置について5月26日～6月1日)

- ・岩手県 1件

詳細は、岩手県医療政策室のホームページをご覧ください。

<http://www.pref.iwate.jp/iryou/kenkou/Influ/index.html>

医療機関からの情報

- ・この週には医療機関からの情報はありません。

Q & A

読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。

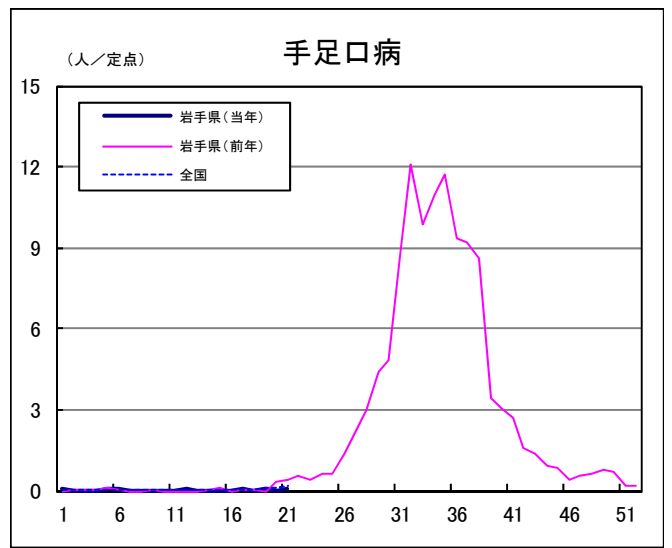
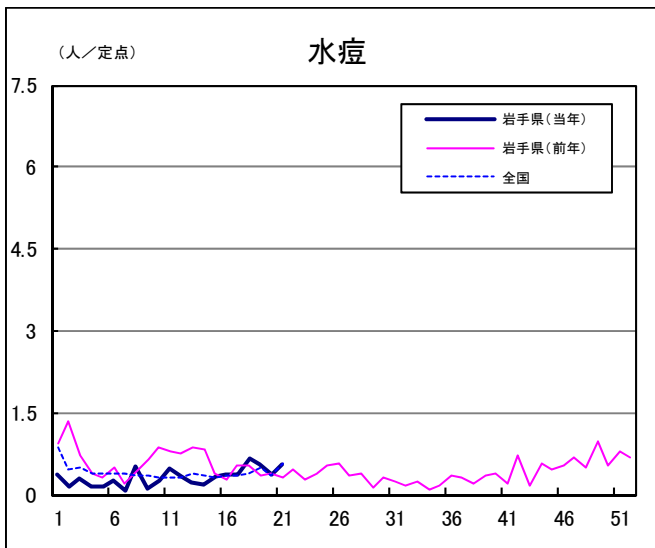
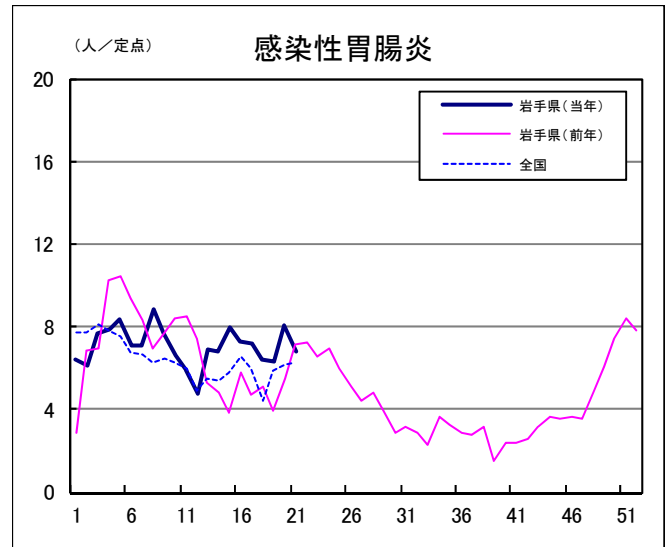
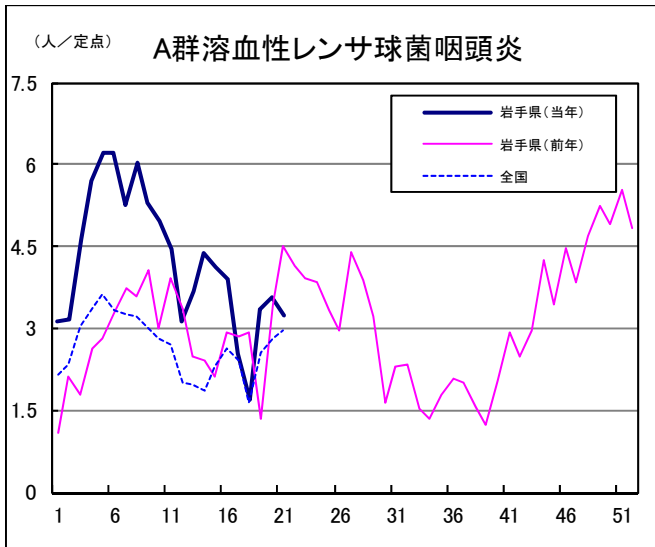
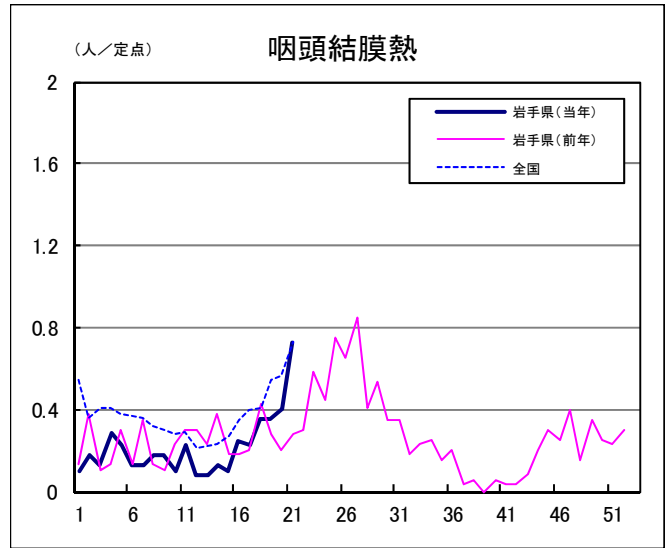
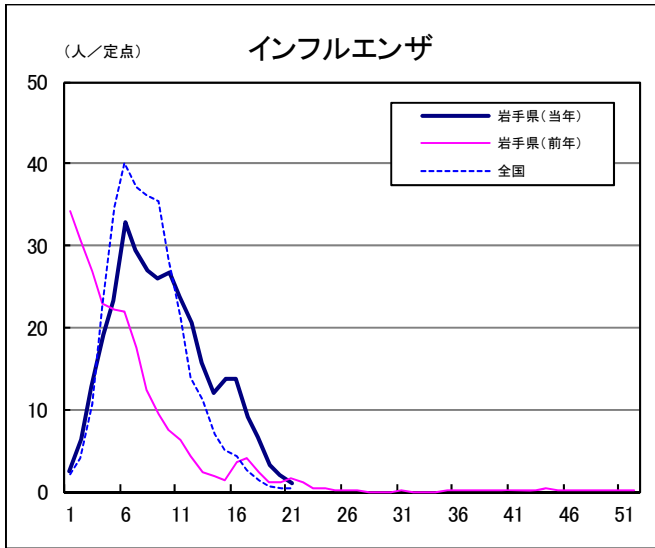
岩手県感染症情報センター (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

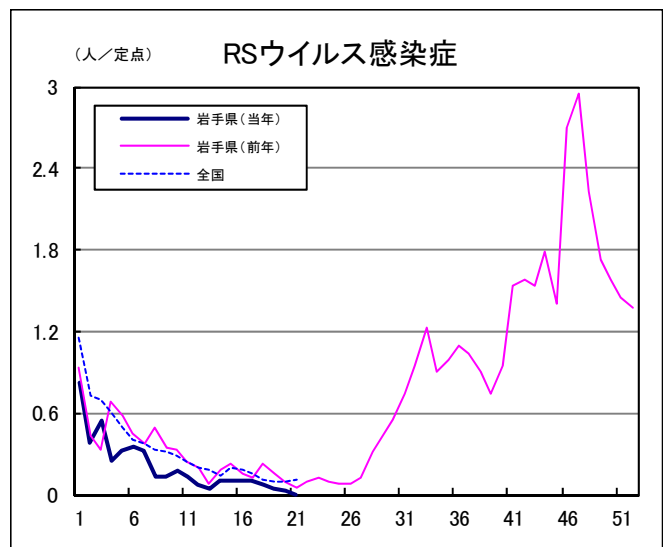
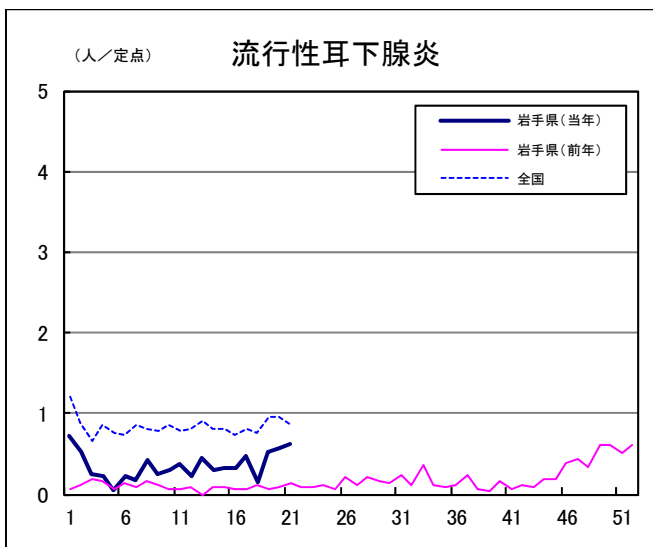
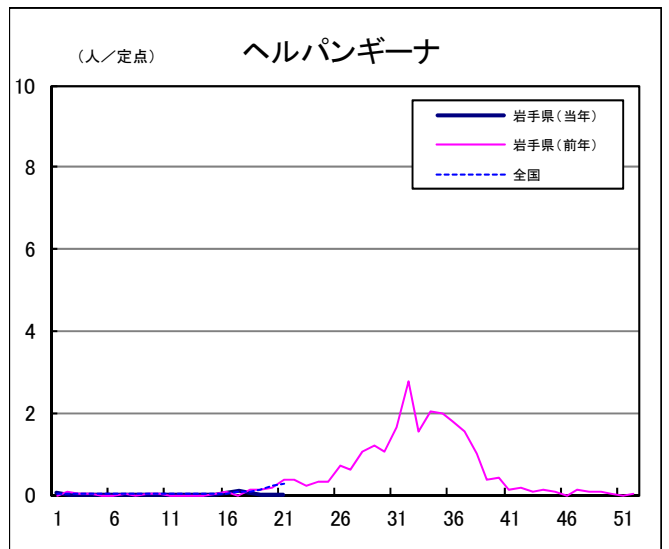
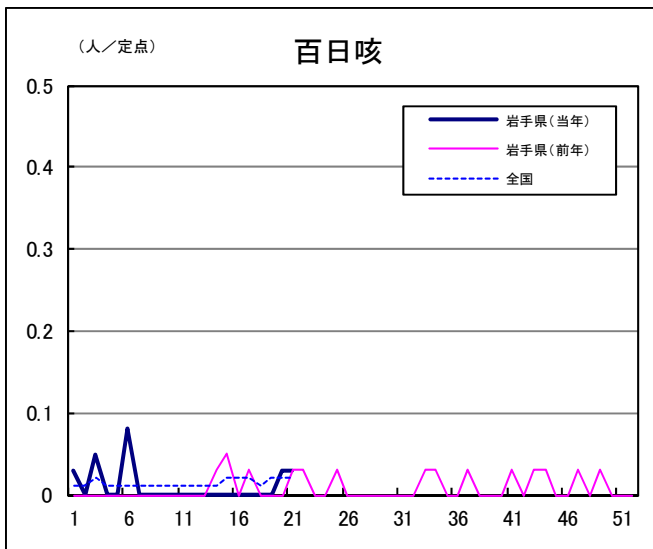
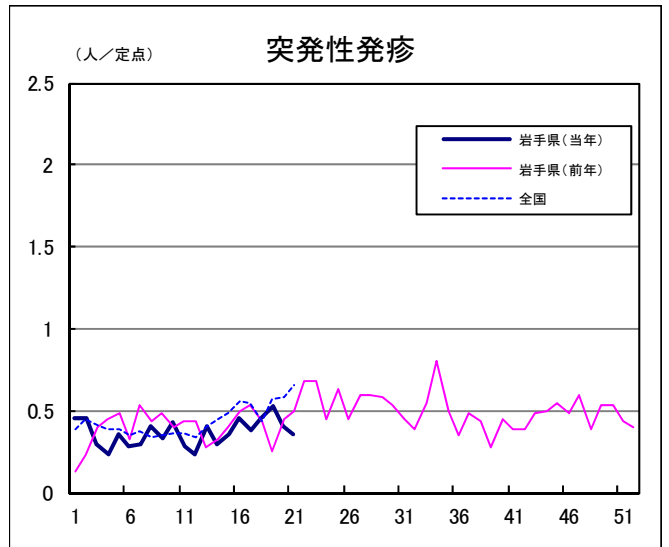
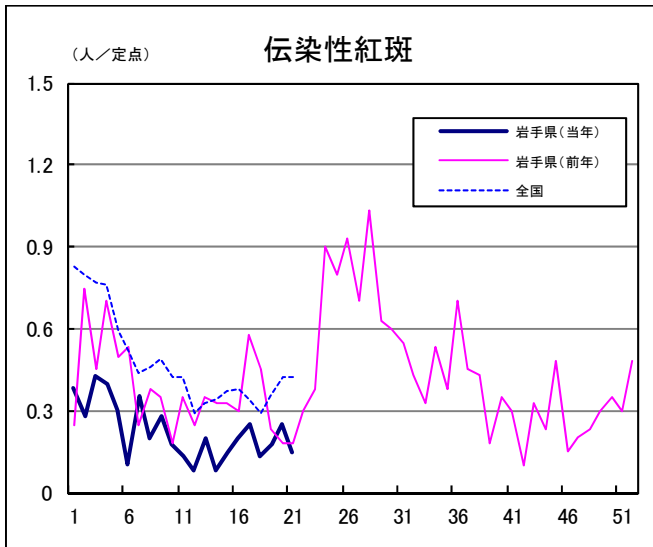
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

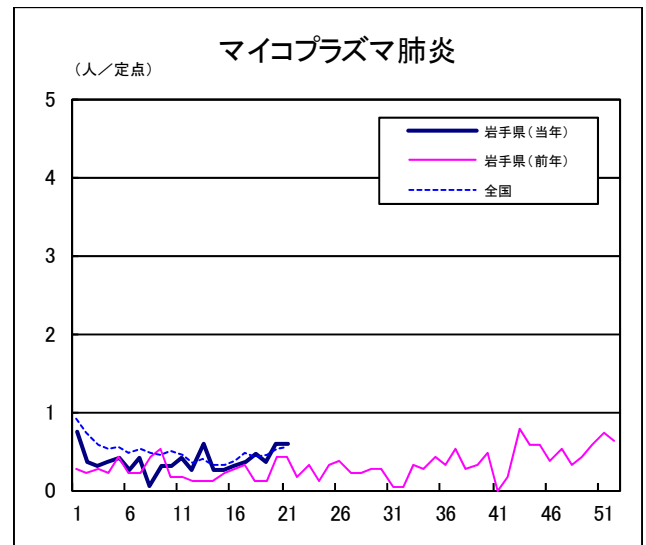
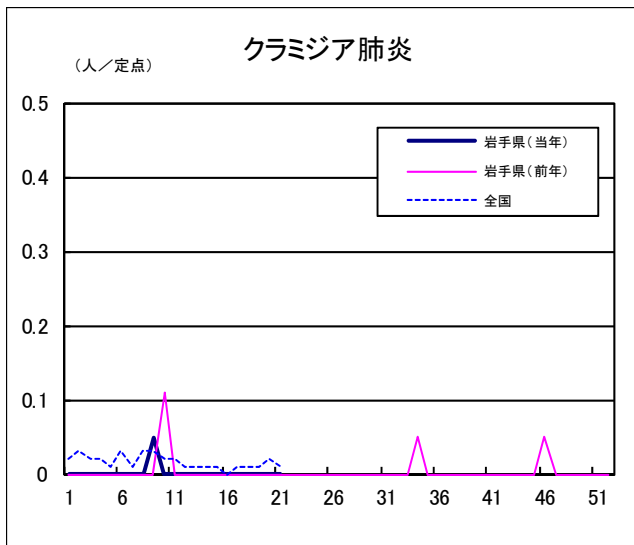
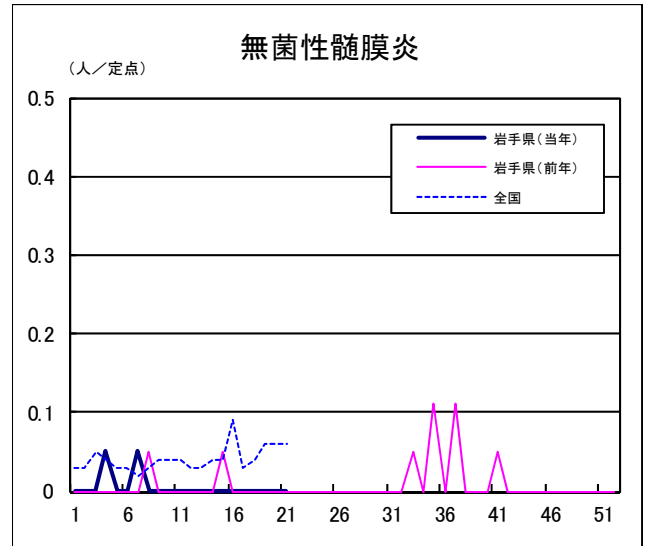
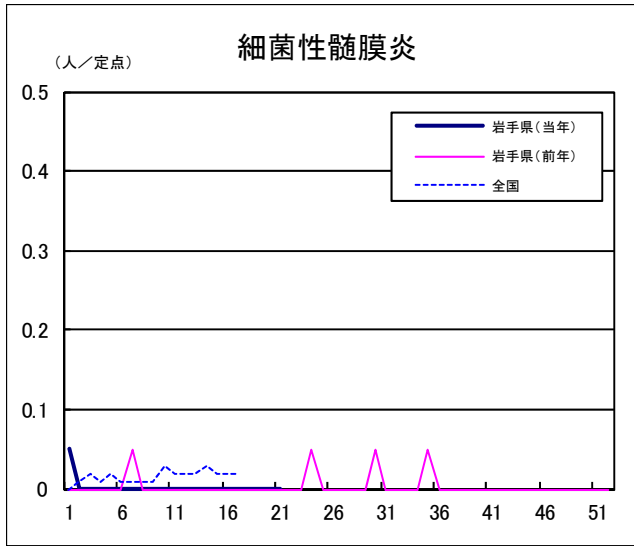
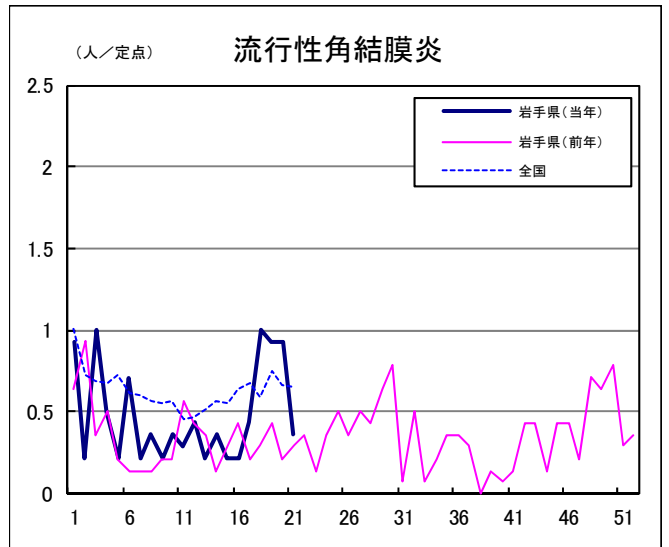
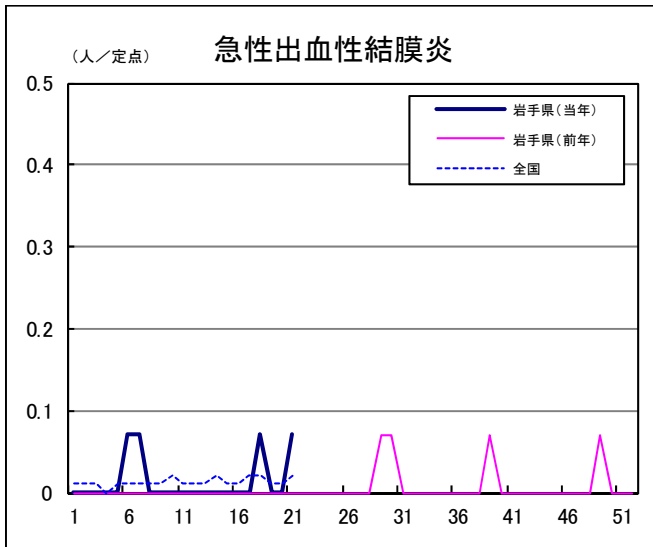
TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)

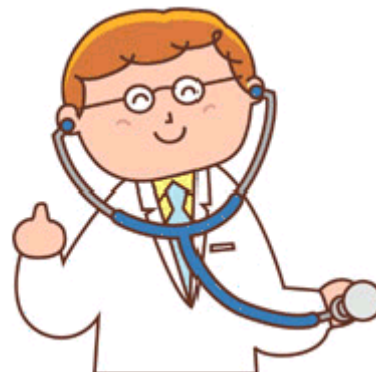






定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成28年第21週 平成28年6月3日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>